

「有徳の人」を育み、誰一人取り残さない教育を実現するため、生涯を通じて学び続け、子供たちの伴走者として夢の実現へと導く教員の育成を目指す

〇〇市（町）・・・教員育成指標（案）（副園長、教頭、主幹教諭、教諭、保育教諭等）

キャリア ステージ 資質 能力		採用時	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期
		<p>○教育・保育に対する真摯な姿勢を持つとともに、求められる資質能力の基礎を形成しようと努める。</p>	<p>○他者との関わりや仕事上の経験を経て、教員としての資質能力の向上を目指す。 ○様々な施設の異動を経験する中で、視野を広げる。</p>	<p>基礎・向上期に身に付けられた力に加え、 ○自らの立場や役割を自覚して園運営に参画し、ミドルリーダーとしての資質能力の向上を目指す。 ○教員としての幅をさらに広げ、自己の強みを確かなものにする。</p>	<p>充実・発展期に身に付けられた力に加え、 ○指導的な立場として、園運営のサポート役や園内の人材育成の推進役を務めるとともに、専門性をより深め、自らの描いた理想とする教員像の実現を目指す。 ○園運営をリードする立場として、組織的に教育・保育を推進する体制を構築する。</p>
<p>キャリアステージに応じて、実践・省察・改善を繰り返しながら、必要な資質能力を身に付ける</p>					
教育・保育的素養・総合的人間力		<p>○教職人生を通して、教育者としての使命感、倫理観・人権意識、社会性、教育に対する誇りを持ち、新しい知識・技能を学び続け、乳幼児への共感・理解や教育的愛情の涵養、信頼関係の構築を図っている。 ○教職人生を通して、真摯に学び続ける姿勢と自律心、変化を恐れない積極性とリーダーシップを持ち、広い視野と社会環境への理解を基に地域社会と関わり、豊かな人間性の向上を図っている。 ○「才徳兼備」の人づくりを担う一人として、常に乳幼児の模範となるよう行動している。</p>			
教育・保育力	教育・保育を構成する力	<p>○幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の趣旨を踏まえ、指導内容や指導方法（ICTを活用した指導方法含む）について理解し、実践しようとしている。</p>	<p>○乳幼児の実態把握を的確に行い、乳幼児の自発的な活動としての遊びを実現するため、個別最適な学びや協働的な学びのある教育・保育を実践している。 ○幼小中高の学びの継続性・一貫性を持った教育・保育を実践している。 ○地域の人的・物的資源をつなげ、学習成果を高める教育・保育を構想し、ICTを効果的に活用し展開している。</p>	<p>○乳幼児個々の特性に合わせて、自発的な活動としての遊びを実現するため、個別最適な学びや協働的な学びのある教育・保育、幼小中高の学びの継続性・一貫性を持った教育・保育の実践を深めている。 ○専門性を高めるために得意分野の伸長を図り、同僚に対する指導・助言を行っている。 ○地域の人的・物的資源を有効活用し、高い学習効果を上げる教育・保育を構想し、ICTを効果的に活用し展開している。</p>	<p>○変化を恐れない積極性とリーダーシップを持ち、教育・保育力向上のための体制づくりに参画している。 ○自己の確かな実践に基づき、園・家庭・地域の実態や特性等を踏まえ、乳幼児の資質能力を伸ばすためにICTの効果的な活用等、必要な指導計画の策定とその実践にリードしている。 ○同僚に的確な指導・助言を行い、効果を上げている。</p>
	乳幼児を理解し個に対応する力	<p>○乳幼児の発達等に関する知識を得ることや、多様な乳幼児と接する経験を持つことなどを通して、乳幼児理解に努めている。人権尊重の意識を深めている。</p>	<p>○乳幼児一人一人に寄り添い、個々の特性に応じた発達を促すとともに、発達段階に即して好ましい人間関係をつくれるよう、地域や外部関係者と連携して支援している。 ○特別支援教育の対象となる乳幼児一人一人に応じた教育・保育計画を作成するとともに、合理的配慮を踏まえた的確な教育・保育を行っている。</p>	<p>○乳幼児一人一人を取り巻く環境を的確に捉え、理解を深めるとともに、よりよい集団づくりを促進し、個々の資質能力を最大限発揮させるための環境づくりに努めている。 ○特別支援教育に関わる専門性を高めるとともに、自らの実践を通して、経験の浅い教職員の指導・助言を行っている。</p>	<p>○乳幼児一人一人について、教職員相互の理解・支援を促進するために組織や地域・外部関係者に働き掛け、園全体として乳幼児を支援する機能の充実を図っている。 ○乳幼児の社会的自立を目指す特別支援教育について、組織的に教育活動の改善を図っている。</p>
業務遂行力	教育・保育力以外の専門的な力	<p>○教員の仕事の全体像を認識し、教育・保育に携わる者として、社会の変化や様々な課題等について関心と知識を持っている。</p>	<p>○将来を見据えた様々な教育・保育課題に対応するため必要な知識・技能を習得し、実践するとともに、常に改善意識を持って取り組んでいる。 ○常に安全確保に取り組み、危険を察知した際の報告・連絡・相談、事故等への対応、再発防止の実施が迅速にできている。 ○保護者等との信頼関係を基盤にした個に応じた指導・支援に取り組んでいる。</p>	<p>○将来を見据えた様々な教育・保育課題を速やかに把握し、率先・協働して改善・解決するとともに、同僚への指導・助言を行っている。 ○危険を予測した未然防止の取組、事故等への適切な対応、事後の検証と再発防止が、同僚と協働して組織的にできている。 ○地域における子育て支援の役割を果たすよう外部機関等と連携し、主体的・組織的に支援に取り組んでいる。</p>	<p>○将来を見据えた様々な教育課題に対して模範となる実践を行うとともに、園全体を見据えて、魅力ある園づくりを推進している。 ○危険の未然防止や事故等の再発防止のための体制整備を組織的に推進するとともに、適切な指導・助言を行っている。 ○地域における子育て支援の役割を果たすよう外部機関等と連携して組織的に取り組み、指導・助言を行っている。</p>
	組織目標を達成するために必要な力	<p>○組織の一員としての自覚と責任、自ら進んで課題を発見し解決しようとする姿勢、聴く力や読み解く力などコミュニケーション力を身に付けている。</p>	<p>○組織の一員として、園経営計画の実現に向け、他の教職員と協働して自らの役割に課せられた責任を果たしている。 ○組織運営について先輩教職員から学ぶとともに、後輩のよき相談役となっている。</p>	<p>○園経営計画の実現のための取組を、ミドルリーダーとして同僚に働き掛けて協働的に進めている。 ○教職員間の信頼に基づき、多様な意見を尊重して、リスク回避に努め、組織的な園の改善を推進している。</p>	<p>○園運営上の課題を適時・的確に分析し、その解決のために指導的な立場で参画している。 ○チームとしての学校として協働的な組織体制・信頼体制の構築を主導的に推進している。危機管理を徹底させている。 ○人材育成の重要性を踏まえ自らの経験・スキルを率先して後進に伝えている。</p>